



はやぶさ2最新報告と 小惑星の科学

小惑星リュウグウに到達し今まさに観測中の「はやぶさ2」の最新成果と小惑星研究における意義を、プロジェクトで重要な役割を担う千葉工業大学惑星探査研究センターの千秋博紀上席研究員、世界の小惑星研究をリードするフランス・コートダジュール天文台のパトリック・ミッシェル博士から語っていただきます。また、今年は日本人天文学者平山清次博士によって小惑星族(「平山族」)が発見されてから100周年にあたり、その発見の意義とこれまでの日本の小惑星研究について中村士博士からお話いただきます。「はやぶさ2」を軸に小惑星科学のフロンティアをご堪能ください。



千秋 博紀(せんしゅう ひろき)博士

千葉工業大学惑星探査研究センター上席研究員

講演タイトル:「はやぶさ2と小惑星リュウグウ」

東京大学にて博士号(理学)を取得後、海洋研究開発機構、東京工業大学、サイバー大学、北海道大学を経て現職。専門は惑星科学。主に数値計算を駆使し、天体内部や表層環境の進化を研究。「はやぶさ2」には2011年から参加。レーザ高度計、熱赤外カメラ、近赤外分光計などのチームメンバーとして、データの初期解析や取得データを予測するための数値計算を担当。最近火星衛星探査計画やピラミッド内部構造探査にも参加。



Patrick Michel(パトリック ミッシェル)博士

コートダジュール天文台惑星科学グループリーダー・フランス国立科学研究センターディレクター

講演タイトル:「小惑星族の形成ならびに小惑星リュウグウの起源と構造について」

慶長遣欧使節が訪れた日仏交流の最初の地であるフランス・サントロベ生まれ。これまで100を超える論文を執筆し、数値計算による小惑星同士の衝突過程の研究を中心に、小惑星の科学を推進。「はやぶさ2」の他、DESTINY+や火星衛星探査計画など日本の小天体探査計画にも貢献。NASAシルバークラブメントメダルなど受賞多数。その功績により名前を冠した小惑星Patrickmichelがある。



中村 士(なかむら つこう)博士

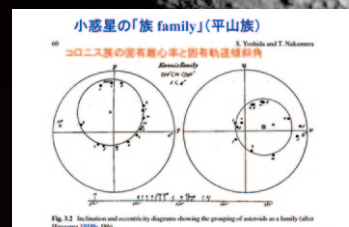
元 帝京平成大学教授

講演タイトル:「日本の小惑星研究史—平山族の発見から100年」

理学博士。東京大学理学部天文学科を卒業、同大学院理学系研究科を修了。東京天文台(現在の国立天文台)に入所。1984-85年、NASA宇宙望遠鏡科学研究所研究員。国立天文台を定年退官後、2008-2014年、帝京平成大学教授。専門は、太陽系小天体(彗星、小惑星)の統計学的研究と江戸時代の天文学史。著書に「宇宙観5000年史」(2011年、共著)、「東洋天文学史」(2014年)など。



はやぶさ2



コロニス族の固有離心率と固有軌道傾斜角分布の図

小惑星リュウグウ ©[JAXA、東大など]

要 項

日時 **2018年 11月4(日)** 13:30~15:30
場所 千葉工業大学 東京スカイツリータウン®キャンパス 3D宇宙シアタールーム
〒131-0045 東京都墨田区押上一丁目1番2号 東京スカイツリータウン®ソラマチ8F
主催 千葉工業大学 惑星探査研究センター 協力 JAXAはやぶさ2プロジェクト

プログラム

- ①300インチ3D宇宙シアター鑑賞
- ②千秋博紀氏、パトリック・ミッシェル氏、中村士氏による特別講演

※②は惑星探査研究センター 主席研究員 和田浩二による進行となります。
また、パトリック・ミッシェル氏の講演は英語で行われますが、同時通訳が付きま。

事前予約制

応募フォームより、ご予約お願い致します。定員100名
応募締切:2018年11月2日(金) 17:00 <https://req.qubo.jp/cit/form/percseminar>

申込QRコード▶

